

☆「時間がかかる割に効果があるのか?」、「この業務は不要ではないのか?」

ムダを失くし、業務効率を向上させる、「業務の実態を数値データ化する方法」をデモを交えて解説する!

1名分料金で  
2人目無料

# 低生産性業務の「見える化」手法

- ◆日時: 2021年4月9日(金)10:30~16:30
- ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。  
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円(税込)  
 ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円(税込))

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### ●講師:トータルマネジメントシステム研究所 代表 角川 真也 氏

業務の実態を数値データ(工数(時間)・金額)で定量的に「見える化」すれば、低生産性業務が特定できます。また、本来業務を明確化すれば、それ以外はムダ業務とわかり、業務生産性は劇的に向上します。経営者・管理職・担当者全員に大きなメリットがあります。

当セミナーでは、低生産性(ムダ)業務の特定方法・対処方法・活動推進方法のすべてをお教えいたします。

#### 【プログラム】

- 『低生産性業務』を放置する恐ろしさ
  - 低生産性業務放置は会社をつぶす(事例紹介)
  - 失敗事例から学ぶ
- 低生産性業務の存在が日本メーカーの弱点
  - 世界から見た日本の生産性(現場・事務所)
  - 製造現場と事務所の生産性に「差」がある理由とは?
- 業務の実態を「見える化」する
  - 業務の何を「見える化」するのか?
  - どのようにして「見える化」するのか?
- 低生産性業務を特定する
  - 業務の『見える化ツール』とは?
  - 業務「見える化」事例紹介
  - 『見える化ツール』で発見できる低生産性業務
- 『見える化ツール』の作成方法について
  - 『見える化ツール』作成マニュアル解説
  - 『見える化ツール』作成デモ
- 究極の生産性向上手法「ムダとり」
  - 「ムダとり」はなぜ失敗するのか?
  - 業務を減らしたければ「ムダ」探しは止め、「本来あるべき姿」を追求せよ
  - 「本来あるべき姿」を明確化するツール
  - ムダとり事例紹介
- 低生産性業務「見える化」活動の推進方法
  - 標準スケジュール
  - 全員に喜んで協力してもらう方法とは?

#### 【LIVE配信セミナーとは?】

- ・本セミナーはWeb会議サービス「Zoom」を使用したライブ配信セミナーです。
  - ・申込後、視聴用のURLを開催日の前日までにご連絡いたします。ご視聴はPCを推奨しておりますが、タブレットやスマートフォンでも視聴可能です。
  - ・テキスト資料は郵送いたします。開催日の1週間前までにお申し込みいただきましたら前日までにテキストをお送りいたします。
- 直前に申し込みいただいた場合、前日までに届かない可能性がありますので、予めご了承ください。

### 『低生産業務【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール  郵送

#### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>